



～整備を終えた斜面をバックに～ 今日もおつかれさま。恵下山ありがとう！

2004年から始まる恵下山公園里山整備は、地元「ふるさと恵下山まもり隊」の平井さんが代表を辞されることになり、今回が最後の整備となり、会員・地元の皆さまが大勢参加されました。

朝のミーティングでは、山本理事長が恵下山との関りを話され、平井代表からご挨拶を頂いた後、いつも通りラジオ体操で身体をほぐし、作業グループ毎に作業内容や安全についての確認を行いました。作業場は、事前に地元と打ち合わせた恵下山入り口付近をメインに、A班からD班まで4グループに分かれ、早速、それぞれの担当場所へと向かいました。



A班は、トイレ裏斜面の檜枯れの大木を、チルホール・滑車を使いチェーンソーで伐倒しました。急斜面での伐倒は高い技術を必要とし、安全に作業できたことは日頃の精進の賜物と思います。

B班は、トイレ裏右斜面の草刈り及び手鋸での除伐を行いました。やはり急斜面で、体の安定を保ちながらの作業は大変な様子でした。

C班は、県立高陽高校北側のグラウンドに面した面積は広いが比較的なだらかな斜面の草刈りが主な作業でした。ただ、公園側からグラウンドのサッカーゲートに伸び多数の蔓を除伐出来なかったのは残念です。

D班は、石碑前の急斜面の除伐でしたが、斜面上からロープを垂らし、そのロープを巻き付けて手鋸・鎌を使っての作業となりました。高さ調整には苦労しました。今後もりメイト倶楽部としてロープ作業でのスキルを蓄

積する必要があると感じました。

作業の成果は、午後から少し雨に降られましたが、参加人数も多く、当初の目的はほぼ達成できたようです。昼には、倶楽部から北田、木原、杉田さん等3名と地元の方々で、温かな汁をご準備いただき、美味しく頂きました。いずれも急斜面の作業でありましたが、事故やケガなく無事に作業を終えました。今回で、恵下山公園整備は終了しますが、公園の美観、地元の皆さまの安全の為に、態勢を整え再開できることを願っています。

